

令和5年12月21日
於
府中市立教育センター

令和5年第12回

府中市教育委員会定例会議事録

府中市教育委員会

令和5年第12回府中市教育委員会定例会議事録

1 開 会 令和5年12月21日(木)

午後3時00分

閉 会 令和5年12月21日(木)

午後3時37分

2 出席者

教育長 酒井 泰 委員 日野 佳 昭

委員 平原 保 委員 増 渕 達 夫

委員 山下 和 則

3 欠席者

なし

4 出席説明員

教育部長 矢ヶ崎 幸 夫 文化スポーツ部長 佐 藤 直 人

教育部副参事兼指導室長 隅 田 登志意 文化生涯学習課長 鈴 木 正 憲

教育総務課長 田 中 啓 信 ふるさと文化財課長 江 口 桂

教育総務課長補佐 若 山 貴 スポーツタウン推進課長 目 黒 昌 大

学校施設課長 角 倉 道 晴 スポーツタウン推進課長補佐 塚 本 淳

学務保健課長 佐 伯 富 丈

学務保健課長補佐 奥 恵 一

給食センター副所長 桐 生 光 章

教育支援担当主幹 菅 原 尚 志

教育指導担当主幹 濱 田 昌 也

指導室長補佐 南 學 進

指導主事 鈴 木 篤

指導主事 林 達 樹

指導主事 中 尾 友 昭

5 教育委員会事務局出席者

教育総務課主任 徳 永 昭 子

教育総務課事務職員 窪 田 桃 佳

議 事 日 程

第1 議事録署名員指名について

第2 会期決定について

第3 議 案

第54号議案

府中市教育委員会の権限に属する事務の委任及び補助執行に係る規則の一部を改正する規則

第55号議案

府中市スポーツ推進委員の解嘱について

第4 報告・連絡

- (1) 寄附の採納及び感謝状の贈呈について
- (2) 令和5年度セカンドスクール実施結果について
- (3) 郷土の森博物館本館改修工事等における業務の休止期間の変更について

第5 その他

第6 教育長報告

第7 教育委員報告

午後3時00分開会

○教育長（酒井 泰君） ただいまより、令和5年第12回府中市教育委員会定例会を開会いたします。

◇

○教育長（酒井 泰君） 日程第1、議事録署名員指名につきまして、本日の教育委員の議事録署名員は、山下委員にお願いいたします。

◇

○教育長（酒井 泰君） 日程第2、会期の決定でございますが、会期は本日1日といたします。

◇

◎傍聴許可

○教育長（酒井 泰君） 傍聴希望者がおりますので、許可してよろしいでしょうか。

（「はい」の声あり）

○教育長（酒井 泰君） それでは、許可いたします。

◇

第54号議案 府中市教育委員会の権限に属する事務の委任及び補助執行に係る規則の一部を改正する規則

○教育長（酒井 泰君） 日程第3、第54号議案の審議に入ります。議案の朗読をお願いします。

（事務局朗読）

○教育長（酒井 泰君） 説明をお願いします。

○教育総務課長補佐（若山 貴君） それでは、ただいま議題となりました第54号議案「府中市教育委員会の権限に属する事務の委任及び補助執行に係る規則の一部を改正する規則」につきまして、ご説明いたします。

恐れ入りますが、議案書1ページをお開きください。

本改正の趣旨でございますが、令和6年4月1日に予定されている子ども発達支援センターの開設に伴い、現在教育センターで実施している教育相談及び就学相談に関する子ども発達支援センターで行うため、障害者福祉課の職員に当該事務を補助執行させるものでございます。

なお、補助執行させる事務が限定的であるため、副市長、部長については補助職員としないこととしております。同様に別表第2第9項の転入学通知書の交付に関することについても、補助執行させる事務が限定的であることと、当該事務を地域コミュニティ課が所管する東西出張所でも実施していることから、実態に合わせて所要の改正を行うものでございます。

具体的な改正箇所につきましては、恐れ入りますが、議案書の新旧対照1ページから2ページをご覧ください。

別表第2第9項中、副市長、市民部長及び総合窓口課を地域コミュニティ課及び総合窓口課に改めます。

次に、別表第2第10項に補助執行させる事務として、子ども発達支援センターにおいて実施する教育相談及び就学相談に関することを、補助職員として障害者福祉課の職員を加え

ます。

最後に付則といたしまして、この規則は令和6年4月1日から施行するものでございます。ただし、別表第2第9項の改正規定は公布の日から施行するものといたします。

以上で説明を終わらせていただきます。よろしくご審議くださいますようお願いいたします。

○教育長（酒井 泰君） 事務局の説明が終わりました。何かご質問はございますか。

○委員（日野佳昭君） 子ども発達支援センターは、福祉保健部障害者福祉課に属する組織となっていますが、実際の教育相談、就学相談は教育委員会が主体となります。今回、一部の事務を行うということで、補助職員としての副市長、市民部長の文言がなくなったと伺いました。実際の仕事としては、教育相談、就学相談に関しては、今まで通り教育委員会が主体的に行うということでよろしいでしょうか。

○指導室長補佐（南學 進君） 子ども発達支援センター開設後の教育相談、就学相談に関する事務につきましては、実施場所は子ども発達支援センターとなり、施設を所管する部署としては障害者福祉課ということになります。教育相談や就学相談の事務の権限や管理、また実際に誰が判断していくのかということにつきましては、これまで同様、あくまでも教育委員会の職員が実施していくこととなります。ただし、実際の場所としては障害者福祉課の施設で行うということを整理させていただくために、今回、補助執行の規則を改正させていただくものでございます。改めて申し上げますと、これまで同様に教育相談、就学相談の事務につきましては、教育委員会が担っていくことに変更はございません。

○教育長（酒井 泰君） ほかにご質問、ご意見ございますか。よろしいでしょうか。

それではお諮りいたします。第54号議案「府中市教育委員会の権限に属する事務の委任及び補助執行に係る規則の一部を改正する規則について」、決定することにご異議ございませんか。

（「異議なし」の声あり）

○教育長（酒井 泰君） 全員異議なしですので、原案どおり決定いたします。



第55号議案 府中市スポーツ推進委員の解嘱について

○教育長（酒井 泰君） 続きまして、第55号議案の審議に入ります。議案の朗読をお願いします。

（事務局朗読）

○教育長（酒井 泰君） 説明をお願いします。

○スポーツタウン推進課長補佐（塚本 淳君） それでは、第55号議案「府中市スポーツ推進委員の解嘱」につきまして、お手元の資料に基づきご説明いたします。

恐れ入りますが、議案書の裏面をご覧ください。本案は、府中市スポーツ推進委員に関する規則に基づく非常勤特別職として、令和5年第3回府中市教育委員会定例会において決定し、令和5年4月1日付で委嘱した府中市スポーツ推進委員20名のうち、このたび資料に記載のある1名の方より辞職の申し出がございましたので、当該委員の解嘱を行うものでございます。説明は以上でございます。ご審議のほどよろしくお願い申し上げます。

○教育長（酒井 泰君） 事務局の説明が終わりました。何かご質問はございますか。

○委員（増淵達夫君） 1名の方の解囑ということですが、この欠員の補充について今後どのように考えているか教えてください。

○スポーツタウン推進課長補佐（塚本 淳君） 欠員の補充についての考え方でございますが、現状25名の定数のうち、このたびご審議いただく1名の解囑の者を含めると6名の欠員が生じている状況でございますので、このことを受けまして、本年12月15日よりスポーツ推進委員の追加募集を行わせていただき、新たな担い手の確保に努めているところでございます。

○教育長（酒井 泰君） よろしいでしょうか。ほかにご質問はございますか。

それでは、ほかにご意見ございますか。

それではお諮りいたします。第55議案「府中市スポーツ推進委員の解囑について」、決定することにご異議ございませんか。

（「異議なし」の声あり）

○教育長（酒井 泰君） 全員異議なしですので、原案どおり決定いたします。



◎寄附の採納及び感謝状の贈呈について

○教育長（酒井 泰君） それでは、日程第4、報告・連絡ですが、報告・連絡（1）を教育総務課、お願いします。

○教育総務課長補佐（若山 貴君） それでは、資料1の「寄附の採納及び感謝状の贈呈について」ご報告いたします。

今回の寄附は3件でございますが、いずれも学校教育の振興に供するために寄附されたものでございます。

1件目の寄附の採納先は、府中第一小学校でございます。寄附品はトロンボーン1台、12万3,750円、ユーフォニアム2台、45万5,400円、ハーフパンツ55着、33万8,250円。寄附者は府中市立府中第一小学校PTA様。受領日は令和5年12月1日でございます。

2件目の寄附の採納先は、府中第三小学校でございます。寄附品は書籍（浦沢直樹 作品本）134冊、11万468円。寄附者は植松弘喜様。受領日は令和5年12月11日でございます。

3件目の寄附の採納先は、府中第四小学校でございます。寄附品はサッカーゴール、ゴールネット一式、43万7,360円でございます。寄附者は府中4BKサッカークラブ北島久様。受領日は令和5年12月11日でございます。

なお、府中市教育委員会表彰規程第9条の規定によりまして、委員会が適当と認めたときは感謝状を贈呈できることとなっており、取扱い上10万円相当額以上の寄附を対象としておりますが、3件目の寄附者につきましては、感謝状の受領辞退のご意向を示しておりますので、贈呈しないことといたします。報告は以上でございます。よろしくお祈りいたします。

○教育長（酒井 泰君） 何かご質問、ご意見ございますでしょうか。よろしいでしょうか。

それでは、報告・連絡（1）について了承いたします。



◎令和5年度セカンドスクール実施結果について

○教育長（酒井 泰君） 続きまして、報告・連絡（2）を学務保健課、お願いします。

○学務保健課長補佐（奥 恵一君） それでは、別紙資料2に基づき、令和5年度セカンドスクールの実施結果についてご報告いたします。

セカンドスクールにつきましては、今年度からは民間施設を活用した新たなセカンドスクールとして3泊4日の行程にて6月4日から10月20日の間で実施いたしました。なお、長野県茅野市を会場とした学校が11校、長野県飯山市を会場とした学校は11校となっております。

資料をご覧ください。資料1は学校別の参加状況となります。参加児童数は2,142人で、在籍数2,198人に対し参加率は97.5%でございました。2は年度別の参加率等になります。

裏面をご覧ください。全校を合わせると56名の児童が不参加となりました。不参加理由の内訳は、家庭の都合が36名、体調不良が20名です。また、期間中、特に大きなけが等はございませんでしたが、発熱等の体調不良により参加途中で帰宅した児童が30名おりました。報告は以上でございます。

○教育長（酒井 泰君） 何かご質問、ご意見ございますでしょうか。

○委員（平原 保君） 内容的なことではないのですが、現在、学校では「わくわく自然体験教室」という名称を使用していると思います。「セカンドスクール」という名称はいつまで使うのか、どういう場面で使い分けているのか教えてください。

○学務保健課長補佐（奥 恵一君） 委員のご指摘のとおり、今年度から、義務教育9年間を見通した令和5年度以降の市立小・中学校における宿泊体験学習の在り方を整理する際に、従来「セカンドスクール」としていた小学5年生の宿泊学習については、「わくわく自然教室」という名称にしております。

しかしながら、市の予算事業としては引き続き「セカンドスクール」という名称を用いておりますので、「セカンドスクール」の実施結果という形でご報告させていただいたものでございます。

○教育長（酒井 泰君） ほかにご質問、ご意見はございますか。よろしいでしょうか。

それでは、報告・連絡（2）について了承いたします。



◎郷土の森博物館本館改修工事等における業務の休止期間の変更について

○教育長（酒井 泰君） 続きまして、報告・連絡（3）をふるさと文化財課、お願いします。

○ふるさと文化財課長（江口 桂君） それでは、「郷土の森博物館本館改修工事等における業務の休止期間の変更について」、資料3に基づきご説明いたします。

郷土の森博物館本館については、施設及び設備の老朽化が進んでいることから、令和5年3月に本市と工事請負事業者との間で、当該施設の改修工事等に関する契約を締結し、工事を進めてきました。しかしながら、改修工事の施工段階において詳細に調査した結果、受変電設備の交換作業等に伴い、施設の停電を要する期間が生じることとなったため、令和6年3月4日から同年5月31日まで博物館全体の業務を休止します。その休止を踏まえ、博物館内の各施設の業務について変更がございます。

まず、プラネタリウムを除く博物館本館につきましては、令和5年9月から令和6年6月まで休館としていたものを、令和5年9月から令和6年7月まで休館といたします。

プラネタリウムにつきましては、令和5年9月から令和6年5月までプラネタリウムの放映を休止します。また、令和6年4月及び5月の日曜日及び祝日は原則プラネタリウム放映を行うとしていたところを、令和5年9月から令和6年7月までプラネタリウムの放映を休止といたします。

復元建築物等の園内ゾーンにつきましては、通常どおり業務を行うとしていたものを、令和6年3月上旬から同年5月下旬まで業務を休止といたします。

なお、今回の変更は工事の施工段階で実施した調査の結果、やむを得ず園内を含めた施設全体を停電させる必要が生じたことによりますが、今回の園内を含めた3か月間の完全休館は、2月から3月上旬まで開催する梅まつり、6月に開催するあじさい祭りには影響ない形で実施するなど、引き続き指定管理者である博物館運営グループと協議をしながら、少しでも市民に影響がないよう、博物館の活動を行ってまいります。報告は以上でございます。よろしく願いいたします。

○教育長（酒井 泰君） 何かご質問、ご意見ございますか。よろしいでしょうか。

それでは、報告・連絡（3）について了承いたします。



◎その他

○教育長（酒井 泰君） 続きまして、日程第5、その他ですが、何かございますか。よろしいでしょうか。



◎教育長報告

○教育長（酒井 泰君） それでは、日程第6、教育長報告に移ります。活動状況については別紙の「令和5年第12回教育委員会定例会教育委員会活動報告書」のとおりでございます。なお、この報告書は令和5年11月11日から令和5年12月15日までの活動内容となっております。私からご報告させていただきます。

11月17日金曜日に府中第四小学校150周年記念式典、11月22日水曜日に府中第三小学校70周年記念式典、11月25日土曜日に府中第一小学校150周年記念式典が挙行されました。

この式典の中では、式後のアトラクションとして、児童代表の6年生の鼓笛隊の演奏、呼びかけと合唱、学校のクラブ活動のジャズ演奏と各学校の特徴と言える活動が披露されました。いずれの演奏、発表も実にすばらしいもので、会場の参列者に深い感動を与えるものでした。児童は自校に伝わる活動に誇りを持ち、堂々と精いっぱいお祝いの気持ちを曲に乗せてくれました。こうした活動が披露できるのは、日頃から粘り強く丁寧に指導してくれている、それぞれの学校の教職員の方々の協力があればこそだと感じました。当日、会場では児童のすばらしさへの拍手が送られましたが、それを支えてくれた先生方への拍手でもあったと思っています。これからもよき伝統をつないでいってほしいと思っています。

2点目ですが、11月22日水曜日に特別支援学級連合学芸会が芸術劇場ふるさとホールで開催されました。昨年度と同様に3部制で行われました。私は第1部の後半と第2部を参

観させていただきました。この行事で身に付けさせたい力は、子供たち一人一人が自分の役割を果たすこと、最後まで諦めずに頑張ること、仲間と協力することなどです。いずれの学校も熱心に練習に取り組み、その成果を立派に発表することができていました。学級の先生方はもちろんのこと、協力してくださった保護者の皆様に深く感謝申しあげたいと思います。

3点目ですが、11月28日火曜日に府中市と東京女子体育大学の間で包括連携協定が締結されました。府中市は、このほかにも東京外国語大学、東京農工大学、明星大学と包括連携協定を締結しており、今回で4大学目となりました。大学生の市立小・中学校への学校派遣、研修会等への講師派遣、部活動等の外部指導員の派遣、大学の施設の使用など、様々な具体的な連携事業が考えられます。3学期から直ちに連携に基づく取組を積極的に進める予定をしております。協定を締結することが目的ではなく、具体的な取組を実施し、互いに連携の成果をあげることが大切だと思っています。互いにウィン・ウィンの関係になるようにしていきたいと思っております。

もう1点、お話をさせていただきます。12月3日日曜日に市立小・中学校の人権作文発表会、12月6日水曜日に中学生税の作文コンクール表彰式、12月14日木曜日に環境ポスターコンクールの表彰式、12月17日日曜日には小学生税の書道展の表彰式など、12月に入って作文やポスター、書道など多くの表彰式が開催されました。それぞれ夏季休業中の課題として取り組んだものの表彰ですが、対象の違いはあるものの、いずれもこれからの時代を担う子供たちが、課題解決には何が必要かなどについて真剣に考えるきっかけとなっていると思います。物事を自分事として捉え、自らの考えや意思を表明できる大人になってほしいと思います。作品を見ると、物事に正対し、率直な自分の考えや意見を表現したものばかりで、表彰されたかどうかにかかわらず、この課題に取り組んだ全ての児童・生徒にとってよりよい成長につながったのではないかと考えております。

最後です。本日、今年最後の教育委員会です。令和5年はウィズコロナ、コロナ前に戻る中で様々な行事、活動が展開されました。授業は完全にコロナ前の状態に戻りましたし、学校行事も宿泊行事を含めて全てが予定どおり実施できました。年が改まると、年度の締めくくりの3学期となります。入学選抜や卒業式が控えていますので、これからも気を緩めることなく、学校の教育活動を支える役割を果たしてまいりたいと思います。

本年中の皆様のご協力に感謝申しあげます。また、来年もよろしくお願い申しあげます。

長くなりましたが、以上でございます。

私から報告をさせていただきます。府中市の学校給食費無償化を求める市民の会より、小・中学校の給食費無償化を継続し、制度化を求める要請署名の提出がございましたことをご報告いたします。教育委員の皆様へ情報提供させていただきます。



◎教育委員報告

○**教育長（酒井 泰君）** 続きまして、日程第7、教育委員報告に移ります。活動状況については、別紙のとおりでございます。まず初めに、日野委員、お願いします。

○**委員（日野 佳昭君）** 11月12日、市民体育大会秋季大会閉会式に臨席しました。毎年、各年代から多数のチームが参加しております。スポーツタウン府中として、このような大会が市民の皆さんの目標として存在しており、健康の増進に大いに役立っていると思

ます。17日、四小150周年記念式典、22日、三小70周年記念式典に臨席しました。四小は明治6年から150年の歴史がある小学校です。関係者の皆さんの母校に対する愛情を感じることができました。また、四小ハーモニーブリーズ・ジャズオーケストラによる記念公演は、いつもながら素晴らしい演奏でした。

三小は、現在改築中でご迷惑をおかけしております。三小では、大変お世話になった元教育委員の那須様が主任児童委員として、新島様が三中の地域コーディネーターとして活躍しており、臨席されていました。頼もしい限りです。

12月2日、第5回府中市ボッチャ大会を参観しました。高齢者から小学生まで、年齢の違いにかかわらず試合ができる貴重なスポーツです。奥深く、頭と体を無理なく働かせる新しいタイプのスポーツです。ますます盛んになって欲しいと思います。

コロナ感染症はまだ終息したとはいえ、逆に微増傾向です。今後、オミクロン株の亜系から派生した「JN. 1」が流行する可能性があると言われております。インフルエンザはA(H3N2)亜型(香港型)が流行した後、現在、A(H1N1)亜型の流行がピークを迎えようとしており、またB型(ビクトリア系統)が出てきております。年末年始の感染予防が大切です。以上です。

○教育長(酒井 泰君) ありがとうございます。続きまして、平原委員、お願いします。

○委員(平原 保君) 私は次の4点について報告します。第1に、先月の教育委員会後、3校の記念式典に参列させていただきました。府中第三小学校の創立70周年記念式典、府中第一小学校と府中第四小学校の創立150周年記念式典です。いずれの学校においても、代表の在校生が威儀を正して式典に出席している凛々しい姿に心を打たれました。また、式典後のアトラクション、府中三小6年生の美しい歌声、府中一小わかば鼓笛隊の迫力ある演奏、府中四小ハーモニーブリーズの軽快なジャズ演奏と、いずれも素晴らしい記念演奏が強く心に残っています。今年度6校の創立記念式典に出席させていただきましたが、いずれの学校も保護者、地域の皆様に支えられて、学校の歴史が刻まれ、伝統が築かれていることを再認識しました。また、それぞれの学校において、新たな歴史や伝統が築かれつつあることを体感しました。6校の創立記念式典が無事に実施されましたことを心よりお祝い申し上げます。

第2に、11月29日水曜日、府中四小を会場にした六中学区の小中連携の日の取組を参観しました。初めに府中四小の全学級の授業公開が行われ、その後に7つの分科会に分かれて協議会が行われました。私は全学級の授業を一通り参観しましたが、児童が真剣に学ぶ姿や活気のある学習活動が印象に残りました。分科会は主に算数・数学分科会に参加しました。中学校の数学教員から見た算数の授業における工夫や意欲的に学ぶ児童の姿などの指摘や感想から始まり、学びの視点と育ちの視点から各校の先生方により忌憚のない意見交換が行われました。六中、四小、小柳小、南白小の先生方が一堂に会し、公開授業と研究協議会を通して、小学校と中学校の教員が連携して学校教育の充実、改善を図ろうとする、とても意義深い取組でした。

第3に、12月3日水曜日に人権作文発表会に出席しました。今年度は会場がバルトホールのためか、発表者と参加者の距離が近く感じました。また、全体が3部構成となり、市内の全小・中学校から35名の代表が作文を発表しました。児童・生徒にとって、身近な生活

の中における事象の中から人権課題に気付いて、見つめて、深く考えて書き上げた作文が発表されました。習い事に関する性別の意識、身体の障害に関すること、発達障害に関すること、体育授業における人権、いじめの問題など、小・中学生らしく純粋な感覚で捉えた人権課題の提言は心に響いてきました。

第4に、12月17日日曜日、第10回小学生税の書道展、展示会及び表彰式に出席しました。今年度はこれまでの最高となる3,772点の作品が応募されました。展示会場では、多数の応募作品から、特別賞15点を含む770点の受賞作品が展示されていました。表彰式では、特別賞、金賞、銀賞、銅賞の各賞について児童一人一人が舞台上で表彰され、記念撮影も行われました。ところで、学校教育において、毛筆で文字を書くことについては、明治5年の学制発布で習字として必修教科となり、明治33年の小学校令の改正で国語科の1領域、書き方となったそうです。いずれの時代にも子供たちが文字の書き方を学ぶ教育は大切にされてきました。今は急速にデジタル化が進む社会ですが、文字を書くことは全ての学習の基礎であり、子供にとって文字を正しく整えて書くことができるようにすることは大変意義深く、必要のあることだということを考える機会となりました。以上です。

○教育長（酒井 泰君） ありがとうございます。続きまして、増淵委員、お願いします。

○委員（増淵達夫君） 私は2つ報告したいと思います。1点目は、11月29日の六中学区の小中連携の日です。先ほど平原委員からもありましたが、授業参観で全ての教室を見た後、私は特別活動の分科会に参加しました。六中学区の府中第四小学校、南白糸台小学校、小柳小学校、府中第六中学校の児童会、生徒会役員が集まった交流会が、その前の日に行われたそうで、成果などについて情報共有をしていました。さらに、その役員の交流会がとてもよかったということで、ただ集まるだけではなく何か一緒に活動ができないかという話し合いが行われました。挨拶運動とごみ拾いはどうかという提案がされ、次回までに児童会、生徒会で子供たち同士に協議をさせ、その成果を報告して、今後の展開につなげていきたいと思いますという話し合いが行われました。具体的な活動につながるような話で、実質的な小中連携が行われていると思いました。

その後、各分科会の報告が行われましたが、どの分科会の報告を聞いても、水曜日の午後の時間に、先生方が学校を離れて集まった意義を踏まえた上で、せっかくの機会を活用しようという姿勢があるように見受けました。先ほどの特別活動の分科会での例が具体的な例になると思いますが、このような取組は、よく小学校と中学校の連携や一貫と言われますが、連携や一貫が一体どういうことを指すのかという具体的な取組を提示してくれたと思っています。ぜひこのような取組は継続をして欲しいと思いました。

2点目に、12月2日土曜日、第81回府中市生徒会リーダー研修会を参観しました。夏にも参観して、これはとても素晴らしいと思い、どうしても見たいと思って行きました。今回は、市制70周年の機運醸成に向けた取組から、学校と地域が連携してよりよい府中市を目指すということをテーマにして、府中第六中学校で開催されました。

各中学校から7、8名の生徒会役員が参加していました。内容としては、最初に講演が2本ありました。1本目はスポーツタウン推進課の目黒課長から、ご自身の中学校時代の思い出や、市役所の職員として取り組んだ仕事の紹介、スポーツに関する法律、そして中学生に期待することなどのお話をいただきました。

2本目は、協働共創推進課の小塚課長から、市民協働が必要な背景や小学校の第6学年の子供たちに配布しているクリエイターノートを紹介しながら、中学生への期待ということで4点お話をされていました。中学生に期待することとして、1点目が、やりたいことを実行できる能力を身に付けてほしいということ。2点目が、実行するための手順を組み立てることができるようにしてほしいということ。3点目が、住んでいるまちに興味を持ってほしいということ。4点目が、自分の好きなことや得意なことを自覚して、人のために自分ができることを考えてほしいということでした。

市役所の仕事は中学生にとって決して身近ではないと思うのですが、これら2本の講演から、かなり具体的に身近に感じることができそうなお話を頂けたと思います。

その話の後で分科会協議に移り、第1分科会から第9分科会まで9つの分科会に分かれていました。それぞれの分科会で、例えばバリアフリー、ユニバーサルデザインの分科会には、地域福祉推進課社会福祉系の職員が同席したり、世界地球温暖化の分科会には環境政策課環境改善系の職員が同席したり、市役所の職員の方に様々お話を頂きながら、中学生がどのように考えるか、自分たちにできることは何なのかということを議論していました。市の行政課題と自分たちとの関わりについて、具体的に気付くことができたと思います。

これらはとても素晴らしい取組だと思いましたが、このことを生徒会の役員の生徒だけではなく、全校の生徒にどうやって広げていくのかということが課題だと思いました。その役割を生徒会役員の生徒たちが担うでしょうし、その仕掛けを先生方がいろいろ取り組まれるのかと思いますが、このようなことについて、ぜひ継続的に取り組んでいただいて、裾野の広がり期待したいと思いました。以上です。

○教育長（酒井 泰君） ありがとうございます。続きまして、山下委員、お願いします。

○委員（山下和則君） 11月17日に府中第四小学校150周年式典、11月22日に府中第三小学校70周年式典、11月25日に府中第一小学校150周年式典に参加してまいりました。今年度周年の学校6校を、全て回らせていただきました。個人的には、当時一緒に活動していたPTA会長と久々に会うことができ、当時の思い出を思い出しながら懐かしい気持ちになりました。三小では元会長ということで、周年事業を少しだけお手伝いさせていただきます。

全体的に、各校でそれぞれ歴史や地域性が表れていたと感じました。それぞれの実行委員会の方とお話をする機会もあり、式典までの苦労話や式典にかける思いなどを聞きました。式典はたった1日ですが、約1年前から実行委員会を立ち上げ、思いと労力をかけて作り上げた結果は、どれもすばらしかったと思います。改めて節目の年というのは、よいきっかけとなり、いろいろな可能性につながる、とても大切な行事だと思いました。来年は府中市制70周年になりますが、それを機にますます発展していくことを期待したいと思います。

11月26日に、P連スポーツ研修会に参観してまいりました。私が会長だったときに、総合体育館が台風の影響で水没して使えなくなってから、コロナの影響もあり約6年ぶりの開催でした。コロナ明けで参加者がどのくらい集まるか気になりましたが、大勢の人が集まり、大いに盛り上がっていました。スポーツを通じて交流を図ることを目的にした事業ですので、これをきっかけに盛り上がってくればよいと思いました。以上です。

○教育長（酒井 泰君） ありがとうございます。それでは、これで令和5年第12回府

中市教育委員会定例会を閉会いたします。



午後3時37分閉会

以上、会議のてん末を記載してその相違ないことを証
するため、ここに署名する。

令和6年2月5日

府中市教育委員会教育長

酒井 泰

府中市教育委員会委員

山下 和則